

全国都市再生モデル調査概要様式

1. 応募団体名	山口県下関市
2. 調査名	下関海峡パノラマ構想再生モデル調査
3. 推薦団体名	
4. 調査の対象地域	
(1) 対象となる行政 区域名、地区名等	下関市竹崎町四丁目 ほか20町 概ねJR下関駅～唐戸周辺～火の山公園周辺の関門海峡沿いの中心市街地
(2) 対象となる行政 区域及び地区の特 徴	区域人口規模は約1万人 関門海峡に並走する国道9号を挟んだウォーターフロント区域並びに 道路沿いの商店街及び商業業務区域
5. 提案した活動の内容	
(1) テーマ、課題	関門海峡を臨むウォーターフロントの新旧の地域資源、観光資源並び に市民や地場産業のソフト面での取り組みを活かした新しい形の下関 における滞在型観光を目指す。
(2) 本調査費による 活動内容の概要	<p>ワークショップ 計2回開催(平成16年2月) 参加者 30人～40人 サイクルタウン構想の策定推進 策定委員会設置(H16.2)委員20名 関門景観条例に基づく関門景観形成地区指定の推進 平成15年9月 地元説明会開催～H16.7月指定予定 観光客アンケート調査 四季の各4日 約6000人 海響館、唐戸市場、火の山他 ウォーターフロント区域の模型作成 ワークショップで活用 1/500 PFI導入可能性調査 細江町三丁目地区社会教育等複合施設建設事業</p>

<p>6 .本調査費と関連する活動実績</p>	<p>サイクルツアー推進事業モデル地区指定 平成16年2月 国土交通省(全国15地区のうち) 関門海峡観光実態調査 平成15年12月結果報告 国土交通省山口河川国道事務所 関門地域における回遊空間の形成に資する 4400枚配布 回収715枚 地域再生構想での提案 下関市ウォーターフロント地区観光客移動円滑化構想 都市再生モデル調査での検討項目の実現化～海峡パノラマ遊歩道の設置(サイクリングコースを含む。)</p>
<p>7 .本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など</p>	<p>WSの実施により各まちづくり団体の連携強化と取り組みへの一体化が強化された。今後ともこうした活動を継続して欲しい旨の要望が強い。 調査の切り口は観光であるが、庁内での意識啓発と協力体制の強化に繋がった。各部局個別の政策実施では事業効果は薄く、協調によりより大きな効果が期待できる。～今回は7部局長連携のもとに実施。 本調査を踏まえ、その実現化の手法として地域再生構想の提案を行ったが、担当省庁の回答によりそれなりの可能性が期待できるものと判断している。今後は担当省庁との協議を進めていきたい。</p>